

70歳以上の方へ

## 高額療養費の自己負担限度額(上限額) が変わりました 8月から

「My Health」91号でお知らせしたように、70歳以上の方についても負担能力に応じた医療費負担を求めるため、この8月から高額療養費の見直しが行われています。今回の見直しでは、「現役並み」「一般」の区分の方の外来上限特例の限度額引上げ(「一般」については年間上限額を設定)、「一般」の限度額引上げ(年間3回以上該当した場合の4回目からの限度額引下げ(多数回)を設定)が行われました。また、1年後の2018年8月からはさらなる見直しが行われることになっています。

★下記は医療機関の窓口での自己負担限度額です。IBM 健保組合では付加給付により、これらの金額からさらに軽減しています。

詳しくはHPへ  
HOME > 健保組合の給付  
医療費が高額になったとき



2017年7月まで		
区分	外来(個人)	外来+入院(世帯)
現役並み (標準報酬月額28万円以上)	44,400円	80,100円+(*) (44,400円)
一般 (標準報酬月額26万円以下)	12,000円	44,400円
住民税非課税		24,600円
住民税非課税 (所得が一定以下)	8,000円	15,000円

\* (医療費 - 267,000円) × 1% < > は同一世帯で1年間に3回以上高額療養費に該当したときの4回目以降の限度額。

2017年8月から(2018年7月まで)		
区分	外来(個人)	外来+入院(世帯)
現役並み	57,600円	80,100円+(*) (44,400円)
一般	14,000円 (年間14.4万円上限)	57,600円 (44,400円)
住民税非課税		24,600円
住民税非課税 (所得が一定以下)	8,000円	15,000円

65歳以上の方へ

10月から

## 療養病床入院時の居住費(光熱水費) が引き上げられます

入院時の居住費(光熱水費相当額)については介護保険施設や在宅との負担の公平を図るため、10月から負担額を引き上げるとともに、現行では負担のない「医療の必要性の高い方」も負担することになります。なお、難病患者の方については現行どおり負担はありません。

現 行	
65歳以上 医療療養病床	負担額
医療区分I(II III以外の方)	320円/日
医療区分II III (医療の必要性の高い方) [難病患者]	0円/日

2017年10月から	
65歳以上 医療療養病床	負担額
医療区分I(II III以外の方)	370円/日
医療区分II III (医療の必要性の高い方) [難病患者]	200円/日
	0円/日

※2018年4月からは、医療区分にかかわらず370円/日となる予定です(難病患者の方は負担はありません)。



保健スタッフだより

★ カラダのチェックは年に一度の健康診断で ★

社員健診を実施している東京・箱崎の健康増進センター(健診機関コード:2001)で「家族・任意継続・特例退職者向け健康診断」も実施しています

自己負担なし



- 当施設は、全国の提携健診機関の中で受診者数5年連続No.1の施設です。
- 清潔で広々とした施設でゆったりとご受診いただけます。
- 完全予約制のためお待たせすることなく、気持ちよく検査が受けられるようさまざまな配慮を行っています。
- 鼻からの胃カメラ(経鼻内視鏡検査)を実施しています(口からでも可能です)。
- 経験豊富な医師、スタッフが対応いたします。

★ お申し込みはお早目に ★

IBM 健保組合ホームページの「すこやかサポートPlus」からWebでのお申し込みが可能です。

URL : <https://ibm.sukoyaka-support.com> ※FAX、郵送、電話でも受け付けております。

【問い合わせ先】 家族健診ヘルプデスク ☎ 03-3808-1707 (電話受付時間: 9:00 ~ 17:00 土日祝日及び休業日を除く)

### ★ 編集後記 ★

残暑お見舞い申しあげます。夏休みはいかが過ごされましたでしょうか? 今年は暑さが長引くと予測されていますので、みなさまにおかれましては、ご自身、ご家族の体調管理には十分にお気をつけください。

● 「My Health」へのご意見・お問い合わせは、当健保組合ホームページの「Webでのお問い合わせ」まで